

豊かで、住みよい暮らしにつながる

「やまがた健康住宅」に住んでみませんか

※山形県は、2050年までに温室効果ガス排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンやまがた2050宣言」を行いました。

●「やまがた健康住宅」とは？

「やまがた健康住宅」とは、最も寒い時期の就寝前に暖房を切っても翌朝の室温が10度を下回らない断熱性能と、その断熱効果をも高める気密性能を有する住宅をいいます。

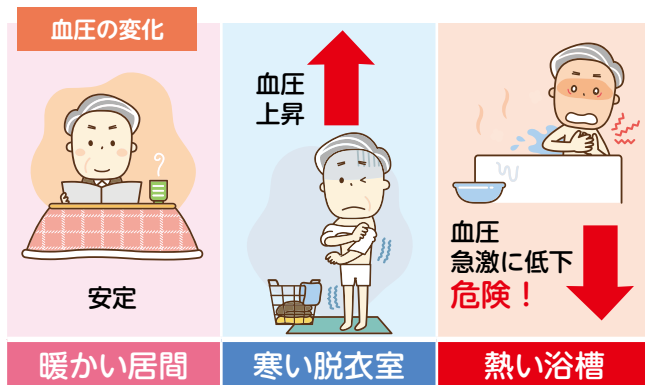
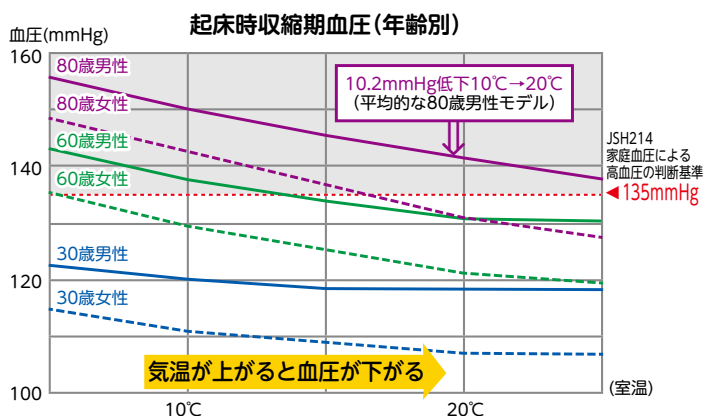
これらの性能を持った住宅を県が審査等を行い、認証します。

●暖かい住宅は「健康」にこんな良い影響が！

寒い家(室温18℃未満)と暖かい家(室温18℃以上)で比較すると…

暖かい家になると、**最高血圧が平均3.5mmHg低下**

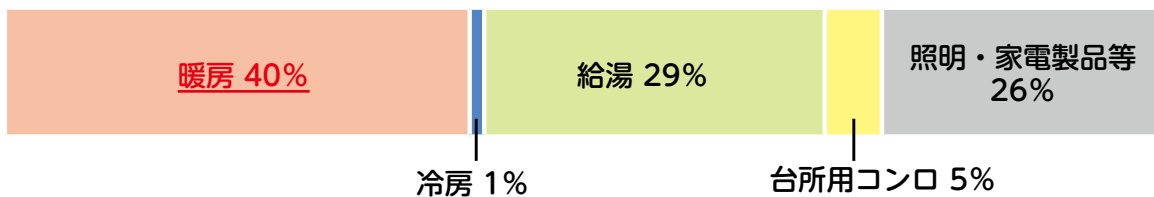
寒い家のままでは、入浴時に**ヒートショックの危険が大**



出典：断熱改修等による居住者の健康への影響調査 中間報告(第3回)(国土交通省住宅局安心居住推進課、同住宅生産課)

●少ないエネルギーで地球温暖化防止にも！

家庭での年間のエネルギー消費量のうち、**暖房によるエネルギー消費量は約4割**であり、非常に大きな割合を占めています。



やまがた健康住宅は、**暖房によるエネルギー消費量を約35%削減**することができます。

1年間の暖房エネルギー消費量 約16.5GJ/世帯
⇒ 灯油に換算すると約480L/世帯

光熱費が低く抑えられます

約300L/世帯

約**35%削減**



ポリタンク(18L)
約10個分相当

出典：平成31年度(令和元年度)家庭部門のCO₂排出実態統計調査(環境省)

本ページの間合せ先

TEL 023-630-2645

山形県 県土整備部 建築住宅課 企画担当

詳しい
内容はこちら
(タテッカーナ)

